

令和六年度 謝恩会

三月十四日、卒業式の後、ホテルヴィスキオ尼崎にて謝恩会が行われました。卒業生からの感謝の言



生混合チーム戦でのクイズ大会では会場が一体感を感じるほど白熱したひとときになりました。教職員にとっても卒業生と温かい雰囲気の中かで交流することができ、心に残る時間となりました。



謝恩会を担当して

幼児教育保育学科Ⅱ回生

古塚 未来

私は、この一年間学友会役員として色々な経験をさせていただき、その中でも謝恩会を担当させていただいたことが最高の思い出となりました。

何度も仲間や先生方と集まり、余興や進行のアイデアをたくさん出し合いましたが、謝恩会という限られた時間の中で全て実現させることは難しく、進捗が滞ることもありました。

今までの行事とは違い、ホテルの方々との打ち合わせなどがあり、緊張したり上手いかなかったりすることもありましたが、謝恩会を通じてより一層先生方や同級生との絆が深まったように感じ、とても嬉しい思い出となりました。

卒業式を迎えて

生活環境学科

介護福祉フィールドⅡ回生

森井 理恵子

私は障がい者福祉に携わりたいと考え社会人入学いたしました。この二年間、先生方には熱心にご指導をいただき同じ目標を持つ同級生と介護福祉士資格取得を目指しました。国家試験前には先生方からの激励のお言葉をいただき積み重ねてきた成果を発揮することができました。また同級生と取り組んだ行事では、校訓三綱領である和衷協同の建学の精神の下、目標に向き合い楽しく充実した学校生活を過ごすことができました。振り返ると甲子園短期大学で過ごした日々は、かけがえのない貴重な時間でした。ご指導いただいた方々への感謝の気持ちを忘れずに日々研鑽を重ねて参ります。